

2

地域環境保全の取り組み

生物多様性への配慮

当社は、電力設備の設置から運用において生物多様性が生み出すさまざまな「恵み」を享受しています。一方で、事業活動に伴い発生する環境負荷や、設備の設置に伴う土地改変などにより生物多様性に影響を及ぼす可能性があることを認識しています。これまでも「恵み」と「影響」に配慮した事業活動を実施しており、今後も生物多様性に配慮した事業活動を進めてまいります。

環境アセスメントの実施

発電所の設置にあたっては、環境影響評価（環境アセスメント）を行い、周辺の大気・水・自然環境に配慮した様々な対策を実施し、地域の環境保全に努めています。

送電線の鳥類保護対策

渡り鳥が送電線を認識できるように、飛翔ルート上の調査を踏まえて標識を取り付けるなど、送電線への鳥類衝突防止対策を実施しています。



送電線への標識設置状況



衝突防止用標識

火力発電所構内に水辺環境を創造

仙台火力発電所では、東日本大震災により損壊した構内貯水池周辺のピオトープ（生物の生息環境）を再整備するなど、生物多様性の保全に努めています。



仙台火力発電所構内の貯水池
および水辺の状況



水辺に飛来したスズガモ

原子力発電所構内の湿原を保護

東通原子力発電所構内の湿原には、希少な動植物が多く確認されており、これらを保護するためにヨシなどの植物の進入を防ぐ必要があります。

このため、定期的な草刈を行って希少な動植物の生息・生育環境が変化しないようにしています。



構内の湿原の様子



希少な蝶（コマシジミ）